



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月24日

上場会社名 アルゼ株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 6425 URL <http://www.aruze.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役兼最高経営責任者(CEO) (氏名) 余語 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 谷口 茂紀 TEL(03)5530-3055(代表)

※本開示資料は本日、別途発表しております「当社子会社(株式会社セタ)において発生した事象が当社第1四半期決算へ与える影響について」を前提として発表しておりますので、詳細につきましてはそちらをご覧ください。

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	12,601	(24.2)	1,141	(548.3)	2,892	(-)	4,772	(-)
19年3月期第1四半期	10,149	(△11.6)	176	(-)	△299	(-)	△401	(-)
(参考)19年3月期	36,387		△2,791		△6,349		9,453	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	59	73	59	72
19年3月期第1四半期	△5	02	-	-
(参考)19年3月期	△118	32	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	169,627		117,347		69.2	1,464	81	
19年3月期第1四半期	167,141		106,047		63.3	1,322	37	
(参考)19年3月期	172,043		117,028		67.9	1,461	45	

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】
 (%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	33,900	94.9	5,900	—	5,700	—	3,400	—	42	55
通期	65,000	78.7	10,400	—	10,000	—	6,000△35.0		75	09

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 有
 特定子会社の異動)
 [新規 1社(社名 アルゼメディアネット(株)) 除外 0社]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成19年4月1日から平成19年6月30日）の連結業績は、連結売上高12,601百万円、連結営業利益1,141百万円、連結経常利益2,892百万円、連結純利益4,772百万円となりました。

主な事業の概況は以下の通りです。

(1) パチスロ・パチンコ事業

パチスロ機につきましては、DX（デラックス）筐体からスタートした新規5号機の発売状況は、初年度（平成18年度）においては順調でありましたが、平成18年12月に行われた型式試験方法の見直しにより、検査がより厳しく、より多くの時間を要することとなり、同時にメーカー数が増加したことも相まって、いわゆる型式試験申請待ちの機種が一気に増加することとなりました。これらの状況により、型式試験の順番決定について“くじ引き”が用いられ、この結果、当社は多くの開発機種がありながらも“くじ引き”に入選できず、意図した機種を発売することができないまま、前期末決算を迎えることとなりました。

この前期の反省を踏まえ、当第1四半期において当社は、筐体をDX（デラックス）、X（エックス）、7R（セブンアール）の3種類に増やすとともに、販売チャンネルをエレコ、ミズホ、メーシー販売の3社に拡大し、型式試験待ちによる販売機会喪失のリスクを可能な限り低減いたしました。また、ホール店舗の要望を受け、3種類の筐体の同時レンタルを可能な体制を構築いたしました。

このような中、当第1四半期においては5号機3機種を発売し、約39千台を販売し、約4千台のソフト交換を行いました。特に6月に発売した「青ドン」はシリーズ累計で500千台以上を販売した大ヒット機種の後継機であり、市場での高い評価を頂き、第2四半期以降も順調に販売台数を伸ばしております。

なお、当第1四半期においてパチンコ機の販売は行っておりません。

(2) 海外カジノ向けゲーミング機器事業

海外カジノ向けゲーミング機器事業につきましては、昨年7月、米国ネバダ州における永久更新可能なゲーミング機器製造ライセンス取得が承認されました。

当第1四半期においては、ラスベガスを含むネバダ州の一般カジノに加え、カリフォルニア州のインディアンカジノへの導入に向け、3リールハイブリッドスロット及び5リールビデオスロットを中心としたゲーミング機器の認可取得を積極的に進めておりました。しかしながら、認可を取得するまでの過程に予想以上に時間がかかり、ようやく本年8月上旬に販売を開始できる状況となりました。今後は継続的に認可が取得できる見込みであり、年内には本格的な販売体制も構築

いたします。

また、南アフリカの子会社 Aruze Gaming Africa (Pty) Ltd 及びオーストラリアの子会社 Aruze Gaming Australia Pty Ltd につきましては、それぞれ新社長を招聘し、販売体制の強化を図って行きたいと考えております。

(3) カジノホテル運営事業

カジノホテル運営事業につきましては、当社が 24.1%の株式を保有する持分法適用関連会社であるウィン・リゾート社 (NASDAQ: WYNN) が運営する世界屈指の高級カジノリゾートのウィン・ラスベガス及びウィン・マカオが、同社の第1四半期(平成19年1月1日から平成19年3月31日)において高稼働を維持しており、営業外収益(持分法による投資利益)に大きく貢献しております。今後においても、ウィン・ラスベガス及びウィン・マカオの好調な稼働状況が見込めることから、ウィン・リゾートからの利益貢献が継続的に期待できると考えております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は 169,627 百万円(前期末比 2,416 百万円減)となりました。内訳は、流動資産が 2,876 百万円増加し、固定資産が 5,287 百万円減少しました。

負債は 52,279 百万円(前期末比 2,735 百万円減)となりました。内訳は、流動負債が 4,049 百万円減少し、固定負債が 1,314 百万円増加しました。

純資産は 117,347 百万円(前期末比 319 百万円増)となりました。内訳は、株主資本が 879 百万円増加し、評価・換算差額等が 575 百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年6月1日発表の業績予想に対する進捗状況につきましては以下のとおりです。

当社は、計画に基づきDX筐体、X筐体、7R筐体を1年間で6機種ずつ発表する予定であり、1ホール店舗当たり合計60台のレンタルを可能とする体制の強化を引き続き進めてまいります。

また、パチスロ5号機「青ドン」の販売推移が好調なこと及び3種類の筐体を同時にレンタルするというホール店舗からの要望に対応することが可能となった結果、ホール店舗からの高い評価を得たことで、今後の入れ替え需要の更なる増加が見込まれます。

売上高及び営業利益につきましては、現時点での中間期及び通期の業績予想修正の予定はございませんが、今後かかる変動が見込まれた場合には適宜お知らせいたします。

なお、経常利益につきましては、ウィン・リゾート社の第2四半期までの純利益が147,955千ドルとなっていることから、持分法による投資利益として当社の中間期において営業外収益が4,000百万円程度見込まれておりますが、現時点での中間期及び通期の業績予想修正の予定はございません。今後かかる変動が見込まれた場合には適宜

お知らせいたします。

当期純利益につきましては、平成19年6月14日付「当社子会社の固定資産の譲渡に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、当社100%子会社である株式会社システムスタッフが固定資産を譲渡したことにより、当第1四半期において譲渡益が確定し、その他の項目と合わせて特別利益を合計で3,513百万円計上しております。現時点での中間期及び通期の業績予想修正の予定はございませんが、今後かかる変動が見込まれた場合には適宜お知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成19年4月2日にアルゼ株式会社より新設分割した、アルゼメディアネット株式会社を連結子会社といたしました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

貸倒引当金及び税効果会計については、連結調整項目を除き、原則として前期末の数値を計上しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当社は、開発費について従来は発生時に全額を試験研究費として費用計上しておりましたが、今期より個別タイトルに関する開発費の一部を仕掛品として資産計上しております。

これは、映像・音声等のコンテンツとして分類されるものの比重が高まってきていることに加え、開発完了後、型式試験を受けるまでの申請待ち期間や試験期間の長期化により、開発費の発生時期と販売時期との乖離が大きくなり、収益と費用の関係がアンバランスになっていることを一部是正するためです。尚、計上された仕掛品は、個別タイトルの販売開始時に、一括して売上原価計上しております。

この結果、当第1四半期において、販売費及び一般管理費が308百万円減少し、売上原価が2百万円増加し、たな卸資産が306百万円増加しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	(平成19年3月期 第1四半期末)	(平成20年3月期 第1四半期末)	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1.現金及び預金	30,210	19,882	△10,328	△34.2	21,041
2.受取手形及び売掛金	16,304	10,518	△5,786	△35.5	5,979
3.有価証券	—	18,139	18,139	—	18,108
4.たな卸資産	24,382	25,883	1,501	6.2	24,981
5.繰延税金資産	3,024	1,449	△1,575	△52.1	1,449
6.未収入金	—	7,016	7,016	—	7,727
7.未収法人税等	0	175	175	—	—
8.その他	8,244	6,051	△2,193	△26.6	6,942
9.貸倒引当金	△69	△53	16	—	△43
流動資産合計	82,097	89,062	6,965	8.5	86,186
II 固定資産					
(1)有形固定資産					
1.建物及び構築物	6,586	3,836	△2,750	△41.8	5,937
2.機械装置及び運搬具	2,047	1,722	△325	△15.9	1,833
3.貸与資産	3,833	5,355	1,522	39.7	2,860
4.土地	14,942	8,049	△6,893	△46.1	13,522
5.その他	2,725	2,973	248	9.1	2,924
有形固定資産合計	30,136	21,937	△8,199	△27.2	27,078
(2)無形固定資産					
1.のれん	—	361	361	—	386
2.連結調整勘定	463	—	△463	—	—
3.その他	993	554	△439	△44.2	617
無形固定資産合計	1,456	915	△541	△37.2	1,004

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	(平成19年3月期 第1四半期末)	(平成20年3月期 第1四半期末)	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
(3)投資その他の資産					
1.投資有価証券	49,336	52,949	3,613	7.3	51,725
2.長期貸付金	454	619	165	36.3	668
3.敷金保証金	810	760	△50	△6.2	766
4.長期未収入金	—	1,708	1,708	—	3,040
5.繰延税金資産	81	—	△81	—	—
6.破産更正債権等	3,274	3,574	300	9.2	3,531
7.その他	3,121	1,869	△1,252	△40.1	1,806
8.貸倒引当金	△3,711	△3,787	△76	—	△3,788
投資その他の資産合計	53,368	57,692	4,324	8.1	57,748
固定資産合計	84,961	80,545	△4,416	△5.2	85,832
III 繰延資産					
1.新株発行費	3	3	—	—	—
2.株式交付費	—	—	—	—	4
3.社債発行費	78	15	△63	△80.8	21
繰延資産合計	81	19	△62	△76.5	25
資産合計	167,141	169,627	2,486	1.5	172,043
(負債の部)					
I 流動負債					
1.支払手形及び買掛金	7,362	10,650	3,288	44.7	7,540
2.短期借入金	14,501	3,860	△10,641	△73.4	9,845
3.1年以内返済予定長期借入金	1,021	5,326	4,305	421.6	7,388
4.1年以内償還予定社債	2,700	2,700	—	—	2,800
5.未払金	1,666	1,817	151	9.1	2,049
6.未払法人税等	172	1,392	1,220	709.3	693
7.未払消費税等	105	205	100	95.2	644
8.賞与引当金	421	450	29	6.9	248
9.訴訟損失引当金	—	1,412	1,412	—	1,412
10.前受金	4,288	5,224	936	21.8	5,035
11.前受収益	6,358	6,763	405	6.4	5,825
12.その他	857	634	△223	△26.0	1,001
流動負債合計	39,455	40,437	982	2.5	44,486
II 固定負債					
1.社債	8,400	5,600	△2,800	△33.3	5,650
2.長期借入金	10,214	2,629	△7,585	△74.3	1,655
3.繰延税金負債	—	177	177	—	156
4.その他	3,024	3,435	411	13.6	3,066
固定負債合計	21,638	11,842	△9,796	△45.3	10,528
負債合計	61,093	52,279	△8,814	△14.4	55,014

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期〕 第1四半期末	〔平成20年3月期〕 第1四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	3,446	3,446	—	—	3,446
2. 資本剰余金	7,503	7,503	—	—	7,503
3. 利益剰余金	94,776	105,347	10,571	11.2	104,621
4. 自己株式	△1,837	△1,669	168	—	△1,821
株主資本合計	103,888	114,628	10,740	10.3	113,749
II 評価換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	35	32	△3	△8.6	32
2. 為替換算調整勘定	1,823	2,421	598	32.8	2,996
評価・換算差額等合計	1,858	2,453	595	32.0	3,028
III 新株予約権	—	28	28	—	12
IV 少数株主持分	299	238	△61	△20.4	238
純資産合計	106,047	117,347	11,300	10.7	117,028
負債及び純資産合計	167,141	169,627	2,486	1.5	172,043

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期
	〔平成19年3月期〕 第1四半期	〔平成20年3月期〕 第1四半期	金 額	増減率	(平成19年3月期) 金 額
I 売上高	10,149	12,601	2,452	24.2	36,387
II 売上原価	4,697	5,705	1,008	21.5	18,124
売上総利益	5,451	6,895	1,444	26.5	18,263
III 販売費及び一般管理費	5,275	5,754	479	9.1	21,054
営業利益又は 営業損失(△)	176	1,141	965	548.3	△2,791
IV 営業外収益	38	1,878	1,840	—	347
V 営業外費用	513	127	△386	△75.2	3,905
経常利益又は 経常損失(△)	△299	2,892	3,191	—	△6,349
VI 特別利益	46	3,513	3,467	—	22,965
VII 特別損失	11	126	115	—	4,809
税金等調整前四半期 (当期) 純利益又は純損失	△264	6,279	6,543	—	11,805
税金費用	189	1,506	1,317	696.8	2,466
少数株主損益	53	0	△53	—	114
四半期(当期) 純利益又は 純損失	△401	4,772	5,173	—	9,453